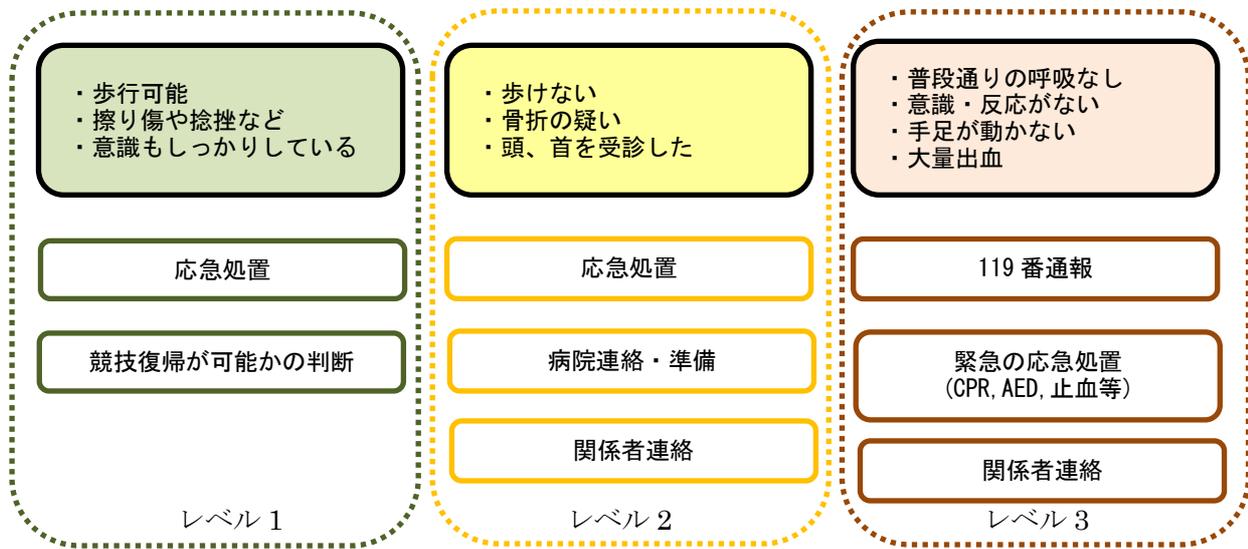


傷病者発生

傷病者の状態確認



救急車を呼んだ時にやること・すること！

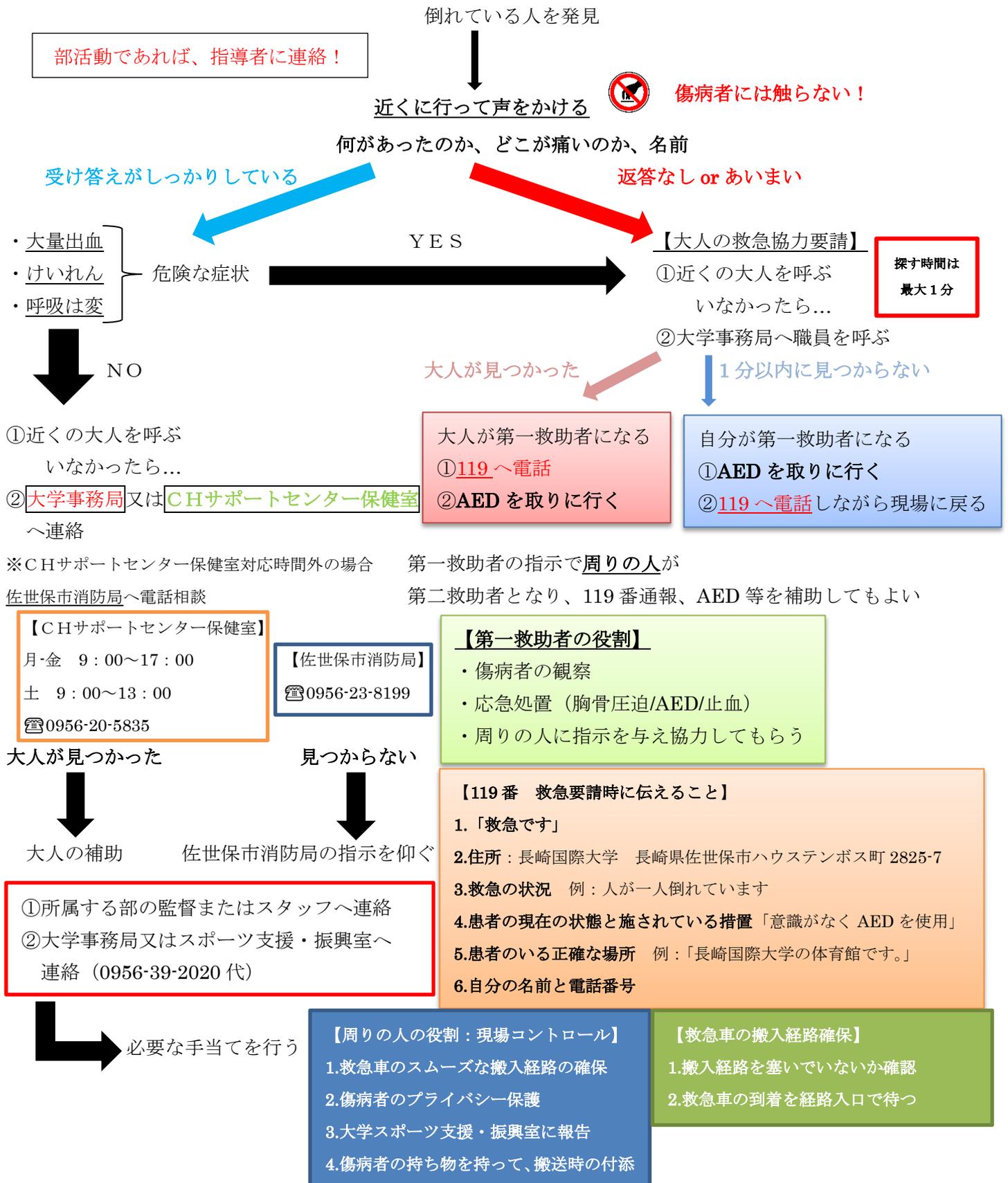
- ・ 傷病者に対応する人 (2~3人)
- ・ AED、救護資機材を持ってくる人 (2~3人)
- ・ 記録係 (時系列、情報を傷病者記録用紙にまとめる人) (2人)
- ・ 警備員に連絡し救急車を誘導する人 (1~2人)
- ・ CH サポートセンター保健室、学内の職員、教員に連絡する人 (1~2人)

□怪我人の状態確認は、最悪を想定したうえで対応を行う。

□運動部の指導者 (又は責任者) 又は代替者は、レベル 2、3 の場合には、身体の安全確保 (手当・処置、119 番通報、病院連絡・準備、緊急手当て) を行った後、大学事務局及びスポーツ支援・振興室長へ報告する。

緊急時対応マニュアル

緊急時対応フロー

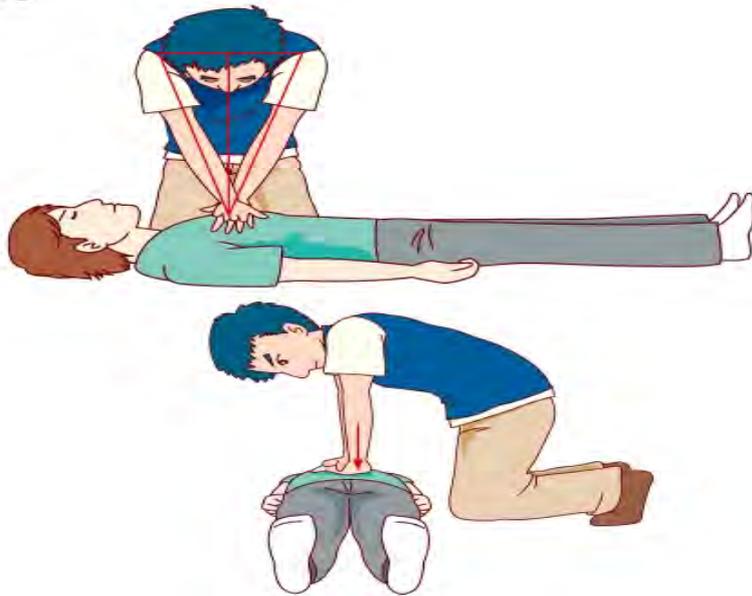


【心肺蘇生（胸骨圧迫）】

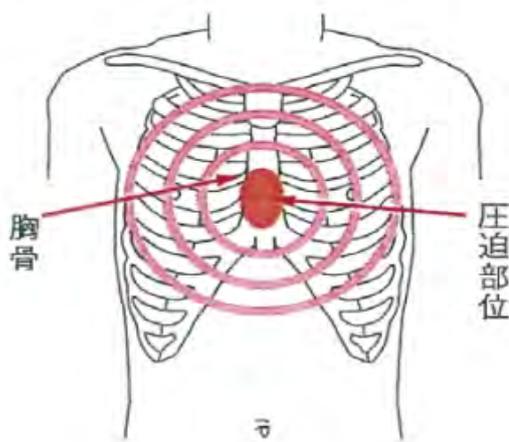
（3）胸骨圧迫

心臓がけいれんしたり停止したりして血液を送り出せない場合に、心臓のポンプ機能を代行するために行います。

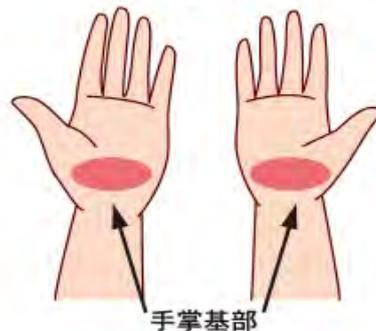
- ① 傷病者を固い床面に上向きで寝かせる。
- ② 救助者は傷病者の片側、胸のあたりに両膝をつき、傷病者の胸骨の下半分（目安は胸の真ん中）に片方の手の手掌基部を置き、その上にもう一方の手を重ね、上に重ねた手の指で下の手の指を引き上げる。
- ③ 両肘を伸ばし、脊柱に向かって垂直に体重をかけて、胸骨を約5cm（成人の場合）沈み込む程度に圧迫する。
- ④ 手を胸骨から離さずに、速やかに力を緩めて元の高さに戻す。
- ⑤ 胸骨圧迫は1分間あたり100～120回のテンポで30回続けて行う。



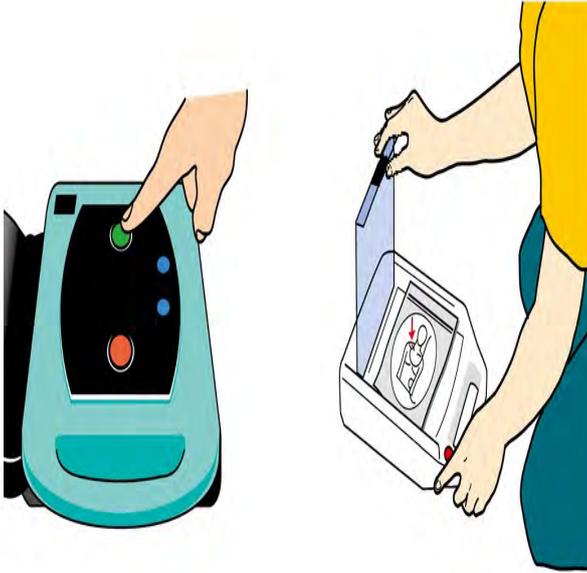
圧迫部位



手掌基部



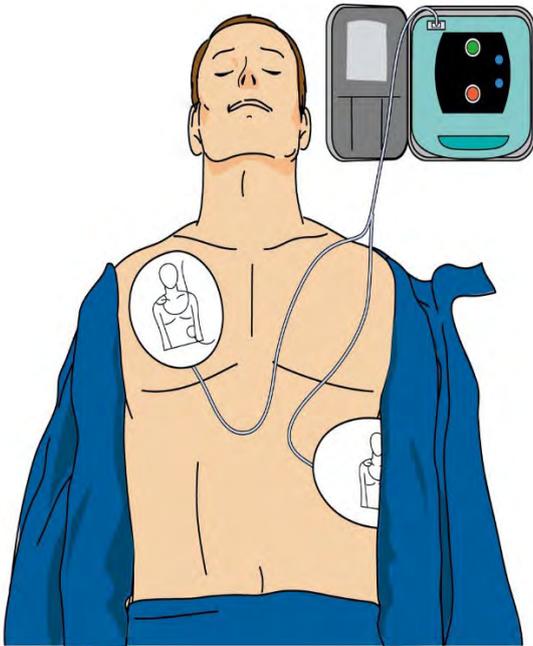
【AED 使用方法】



- ・ AED 本体のフタを開けて電源スイッチを押します。

- ・機種によっては AED のフタを開けると自動的に電源が入るものもあります。

- ・その後は、音声メッセージに従って操作します。



- ・傷病者の胸をはだけさせます。

- ・電極パットを袋から取り出し、一枚を胸の右上（鎖骨の下で胸骨の上）、もう一枚を胸の左下側（わきの 5 cm～8 センチ下）に貼り付けます。

- ・コネクタを AED 本体の（点滅している）差込口に入れます。機種によっては、コネクタが予め本体に接続されているものもあります。

- ・女性の胸を露出することはためらいがちですが、できる限り人目にさらさない配慮をしたうえで、電極パットを適切な位置に貼り付けます。その際、ブラジャーなどの下着の上に貼ってはいけません。下着が邪魔になる場合は、下着を切るか、ずらして貼り付けます。



- ・電極パッドを貼り付けると、傷病者から離れるようにとの音声メッセージが流れ、自動的に傷病者の心電図解析が始まるので、解析の妨げにならないように、周囲の者は傷病者から離れます。



- ・心電図の自動解析の結果、電気ショックが必要な場合には、音声メッセージとともに、AEDは自動的に充電を開始します。

- ・連続音やショックボタンの点滅とともに電気ショックを実施するように音声メッセージが流れるので、「みんな離れてください」と大声で叫び、周囲を見回して、傷病者に誰も触れていないことを確認してからボタンを押します。

出典：日本赤十字社

【学内配置図・AED設置図】

【長崎国際大学 AED設置場所】

2023/4/1 現在



【空手部練習場】 MG レナデンス 体育館横



8 野球場AED

本学キャンパス内に9台、NIU 利休庵診療所に1台、MG レナデンスに1台設置しています。



外からの階段入り口に表示